

第7回 奈良交通路線バス(北田原線)利用促進に向けた三者協議概要

日 時 令和7年8月25日(月)午後7時00分～午後8時30分

場 所 南田原町集会所

参加者 北田原町3名、南田原町10名、星和台4名

事業者：奈良交通株式会社2名

行 政：生駒市(防犯交通対策課)2名

コンサルタント：システム科学研究所3名、ティデザイン1名

話 題 (1)前回の振り返り、情報共有

(2)グループワーク

(3)次回に向けて

概要

(1) 前回の振り返り、情報共有

- ・行政及び奈良交通から、資料1「本日のプログラム」のとおり、前回三者協議で出た意見・アイデア(生駒市・奈良交通への提案)に対する回答に関して説明があった。
- ・行政から、資料2「北田原線の利用状況推移(ICカード実績)」及び資料3「生駒市からのご提案」のとおり、令和6年度から直近までの北田原線の利用状況(ICカード実績)、北田原線沿線おでかけマップを活用したバス無料運賃DAY(令和8年2月1日開催予定)でのガイドツアーに関して説明があった。
- ・住民から、個人で作成した南田原町の郷土情報HPサイト「南田原ものがたり」について共有があった。

(2) グループワーク

- ・自治会ごとに3グループに分けて、各グループで「①おでかけマップの具体的な追加・更新内容」、「おでかけマップを活用した運賃無料DAYとの連携方法」、「③北田原線の利用者増に直結するその他の取組」の3つの中からテーマを選んで、グループワークを行った。

- ・北田原町のグループでは、次のような提案内容が出てきた。

①おでかけマップの具体的な追加・更新内容

□マップの写真の更新

→マップに載せている自然の写真を追加・更新する。

→例えば、季節(春・夏・秋)ごとの自然や、PRできていない絶景ポイントの写真(天野川沿いの花、国道168号沿いの彼岸花、照涌大井戸近くの桜など)を載せる。

→植物だけでなく、鳥などの動物の写真を追加しても面白いかもしれない。

→史跡は、北田原周辺にたくさんあるが、現地に何も無いので、マップに載せづらい。何か掲載できる情報が無いか、情報収集をする。

→写真を手掛かりに、撮影場所を自力で探してもらう形にするのも面白いかもしれ

れない。

→次回三者協議では追加・更新する写真等を持参する。

②おでかけマップを活用した運賃無料 DAY との連携方法

☐特になし

③北田原線の利用者増に直結するその他の取組

☐自治会のイベントにおけるバス利用

→7月に開催した自治会での防災研修において、北田原線を利用して移動した。

→自治会のイベントで交通費を経費として計上する場合、バスの乗車証明書を車内で発行してもらう必要があるが、団体でなく個別での発行になるため、時間がかかり、他の乗客に迷惑を掛けてしまう。自治会のイベントでバスを利用しやすくするためには、この問題を何とかしてほしい。

※【奈良交通】いただいた意見を担当部署に伝える。

・南田原町のグループでは、次のような提案内容が出てきた。

①おでかけマップの具体的な追加・更新内容

☐現場での目印設置が必要

→分岐点など現場では分かりにくい場所があるため、目印は必要である。

→案内看板等を設置した後の維持・管理をどうするか、設置前から決めておく必要がある。

☐施設位置の修正

→「堂の前の森さん」、「御旅所」の位置を修正する。

☐バス停写真を追加

→MAP上で場所があるならば、STARTとGOALのバス停写真を追加する。

☐Google MAPに書き込む

→Google MAP等で検索を増やすためには、地域の方が施設等の書き込み、写真のリンク等を行うことが重要である。その方が、初めての方も安心して来訪できる。ただし、来訪者が増えすぎると困る場所もあるため、バランスが難しい。

②おでかけマップを活用した運賃無料 DAY との連携方法

☐南田原町コース1:4 寺社めぐりをベースにご案内

→南田原町コース1:4 寺社めぐりをベースに、南田原町の方がバス停で待ち構えて、一緒に歩きながら南田原町をご案内したい。

③北田原線の利用者増に直結するその他の取組

☐地域のあり方、バスのあり方検討が必要

→おでかけマップは、「バスを存続させること、利用者数の増加」のための手段にすぎない。

→白庭台方向への移動が多くなっているなど、生活も変わってきている。

→明確なバス利用者数の目標値はない。

→地域のあり方（何が幸せなのか）、北田原線のあり方を議論する必要がある。

・星和台のグループでは、次のような提案内容が出てきた。

①おでかけマップの具体的な追加・更新内容

□星和台コース1「そぞろ歩きコース」の更新

→2. なしの木について、今年撮影した写真に差し替える。

②おでかけマップを活用した運賃無料 DAY との連携方法

□運賃無料 DAY でのガイドツアー用のコースの検討

→運賃無料 DAY 当日は、同日に開催されるイベント等の関係で、ガイドツアーとしての参加は難しいが、コースやツアーの検討として協力することは可能である。

→おでかけマップの7つのコースを組み合わせ、ツアー用のコースを2〜3つ考えてはどうか。また、タイムスケジュールも必要である。

→ツアーの際に食事（ランチ）も一緒にできた方がよい。おにうしで食事ができればよい。

→例えば、①生駒駅北口ーバス→新生駒台北口ー徒歩（散策）→岩屋口ーバス→北田原口ー徒歩（散策）→おにうしでランチ→解散といったコースや、②生駒駅北口ーバス→お松の宮ー徒歩（散策）→お松の宮ーバス→北田原口→おにうしでランチ→解散といったコースが考えられる。

→いちご農家とコラボする。例えば、①運賃無料 DAY 当日にカフェやいちご狩りをしてもらう、②おにうしでいちご農家のいちごを使ったスイーツを提供するなど。旬なので、協力してもらいやすいのではないかな。

→当日トイレを借りられる場所を確保しておく必要がある。

□具体化するための課題

→三者協議や自治会ごとのグループ単位で協議するのでなく、別プロジェクトで進めていく必要がある。

→ツアーの案内人の確保が課題である。コース全体を連れて歩くのでなく、ポイントごとに人が立って案内する方が、案内人の負担が軽いかもしれない。

→案内人に、具体的にどのような説明をしてほしいかを記載したマニュアルを作成する必要がある。今後、他地域でも広がることを想定して、テストケースとして実施してみてもどうか。

→案内人の確保が難しければ、三者協議以外の地域の人（例えば案内スポットの前に住んでいる方など）を巻き込んでどうか。また、観光ボランティアガイドの会や、ふるさとミュージアムのボランティアに協力してもらう方法もある。

③北田原線の利用者増に直結するその他の取組

□特になし

④その他（地域で企画していることの報告）

□歩こう会

→歩こう会は、10月〜11月に宝山寺へ行くことになった。生駒駅に集合してスタートする。集合場所までの移動手段は自由だが、バスを利用してほしい旨を伝えている。

※【行政】参加人数が分かったら行政まで連絡いただきたい。

(3) 次回に向けて

・行政から、次回開催に向けて、以下の説明があった。

→次回は、2ヶ月後に開催予定である。

- ①おでかけマップの具体的な追加・更新内容：次回三者協議で行政が更新したおでかけマップの案を確認する。
- ②おでかけマップを活用した運賃無料 DAY との連携方法：行政が具体化するための方法について整理したうえで、次回三者協議では、行政から状況報告した後に、具体化に向けて話し合う。

以上